疾患の登録・集計システムの在り方

(分担研究：効果的な小児慢性特定疾患治療研究事業の推進に関する研究)

研究協力者幹事：加藤忠明[1)]
分担研究者：柳澤正義[2)]
研究協力者：斉藤　進[1)]、中村　敬[1)]、神谷　斉[3)]、久野正恵[4)]、
益本義久[5)]、加部一彦[6)]、瀧口俊一[7)]
共同研究者：西口　裕[8)]、荒井祥二朗[9)]、平山宗宏[1)]

要約：各都道府県・指定都市・中核市が、１２種類の医療意見書のデータを効率よく入力し、その内容を出力し、そして、１０疾患群別に、また各疾患ごとに入力データの簡単な集計（発病率、罹患率、発病年月、症状や検査結果、経過など）を行えるデータベース化案を作成した。悪性新生物のみ、そのソフトを試作し、試行調査の結果を出力した。小児慢性特定疾患早見表に載っている疾患名をＩＣＤ１０コードに対比させながら見直し、細分類が必要な疾患名に関しては、小数点１桁の次にＡＢＣＤ等の下位番号をつけて区別した。異なる疾患名でも同様の疾患は、コンピューター上まとめて処理することにし、また不適切な疾患名は一部削除した。

見出し語：小児慢性特定疾患、医療意見書のデータベース化、国際疾病分類、集計解析

研究目的：

小児慢性特定疾患治療研究事業(以下､小慢事業）を効果的に推進するため、医療意見書のデータベース化案を作成した。保健所を経由して申請される医療意見書の主な内容を、プライバシー保護に十分配慮しながらデータベース化することにより、コンピューター登録・集計を効率よく行えるようにした。全国的な登録・集計が可能になるように、予算や県単独事業などとの調整、一般事務職員の入力、結果の信頼性などに配慮しながら作成した。今後、小児慢性特定疾患（以下、小慢疾患）に関する全国的な疫学、診断や治療経過の判定、小慢事業の評価、国際比較などを行う際の基礎資料になりうるものを作成することを目的とした。

---

1) 日本子ども家庭総合研究所母子保健研究部、2) 東京大学医学部小児科、3) 国立療養所三重病院、
4) 岐阜県可茂保健所、5) 佐賀県伊万里保健所、6) 愛育病院新生児科、7) 宮崎県都城保健所、
8) 三重県健康福祉部児童家庭課、9) 三重県鈴鹿保健所

研究方法：

昨年度と今年度に試行調査した資料などをもとに、本研究班の各地の研究協力者（病院や研究所の小児科医、保健所関係者、国や県の保健・医療関係者等）やコンピューター会社の専門家達と協議し、意見を取りまとめ、整理した。

結果と考察：

１０疾患群の医療意見書と成長ホルモン治療用意見書のデータベース化案、及び、試作した「悪性新生物」の結果は後に示す。それらは以下の事項を配慮しながら作成したものである。

Ⅰ、コンピューターシステムの概要

各都道府県・指定都市・中核市が、１２種類の医療意見書のデータを効率よく入力し、その内容を出力（フロッピーディスクＦＤ、または、大容量のデータを保存できる光磁気ディスクＭＯを使用する）し、また、入力したデータの簡単な集計も行えるソフトを作成する。そして、中央集計場所では、都道府県等が作成・出力したデータ（ＦＤまたはMO）を読み込み、集合し、その内容を集計表示させられるものを作成する。また、他の集計用ソフトウェアにもそのデータが活用できるようなデータ出力形式にする。アプリケーションとしてはＭＩＣＲＯＳＯＦＴ　ＡＣＣＥＳＳ９７等を使用する。

Ⅱ、データベース化案の基準

１）データベース化した項目

データベース化を行う項目は、今後、１０疾患群ごとに、また各疾患ごとに、各自治体別、そして全国的な各種の解析が可能になる項目である。従って、コンピューター解析に要する費用と、患児やその保護者に役立つ利益とバランスを考慮し、後者が優先される範囲でデータベース化を行った。

１０疾患群の中で、極端な項目差や桁数の違いがないように配慮した。診断基準として重要な項目、また経過や合併症などと関連の深そうな項目、コンピュータ入力しやすい項目をデータベース化した。従って、医療意見書の内容すべてが解析可能なわけではない。

たとえば、糖尿病の血清値、血友病等血液疾患の白血球分画等は一部省略した。ただし、コンピューター計算が同様のプログラムでできる場合のソフト作成費用はあまりかからないので（今後の入力の費用が問題になる）、試行調査により比較的無記入が多かった「慢性心疾患」の心臓カテーテル検査結果、免疫不全症が含まれる「血友病等血液疾患」の免疫グロブリン値等、疾患によっては重要と考えられる項目はデータベース化した。

１０疾患群の医療意見書と別に作成した成長ホルモン治療用意見書（初回用と継続用）は、今後、解析方法や助成範囲等を検討するため、コンピューター入力しやすい多くの項目をデータベース化した。

２）各都道府県・指定都市・中核市での入力

各都道府県等の小児慢性特定疾患対策協議会の審査を経た後、各都道府県等の責任で医療意見書の内容をコンピューター管理することが望まれる。主として成人対象の特定疾患は、各都道府県等が管理しているので、同時に小慢疾患も管理する意味では、データ入力は各都道府県等が行うのが妥当であろう。そのためには、ＡＣＣＥＳＳ９７等が作動できるように各都道府県等のパソコンを整備しなければならない。

来年度から小慢疾患の新しい医療意見書に基

づいた登録・集計を確立するため、医療意見書の具体的登録様式をコンピューターソフト上に作成して、各都道府県等に配布する予定である。小慢疾患の医療意見書の書き方は、医師そして患児によって、いろいろ微妙な違いがある。その内容を全国的に統一した方式で入力するためには、極力、入力しやすい、そして不必要な費用のかからないソフトの作成が必要である。また、入力時のミスを極力減らせるように、以下の工夫を行った。

――医療意見書のイメージを画面上に表示させることにより、入力作業の簡便化をはかった。

――入力時の画面は、特に操作しなければ無記入の内容が自動的に表示されているようにした。

――数値の入力時は切り捨てを原則とし、桁数はなるべく減らす方向で、各疾患群の入力方式を統一した。

――「　」以下、または、＜「　」が記載されている場合は、「　」を入力する。

――％表示の場合は、小数点以下を切り捨てた。また、２桁にするため、１００％の場合は「９９」を入力する。

――小数点以下を入力させる項目は、画面上に小数点を表示させた。

――４桁以上の結果が記載される可能性のある場合、１００単位での記載、または適宜分類して入力する。

――記載内容が不明確のため入力しにくい、または入力できない場合に対応するため、「無記入、他」、「実在しないはずの値」などの入力カテゴリーを作った項目もある。これらは集計時に除外する。

――「ぜんそく」の重症度、「慢性心疾患」の心電図など、複数回答が予想される項目は、それが分析可能になるよう入力方式を考慮した。

――検査結果が医療意見書で求めている単位と異なる単位で記載されている場合、入力時に気づくように、簡単な上限・下限チェックを行えるようにした。別紙データベース化案の「項目の説明」に関して「数」と表記している場合は、その「桁数」以上は入力できないようにした。また、「項目の説明」に関して具体的数字が表記されている場合は、その数字以外は入力できないようにした。

――ＩＣＤ１０コードの種類は多いので、入力者の作業負担が大きくなり、入力ミスが発生しやすくなる恐れがある。そこで、疾患名とＩＣＤ１０コードの対応がわかる一覧表をコンピューター画面上に作成したり、疾患名の何文字かを入力すると予想される疾患名とＩＣＤ１０コードが表示され、それをクリックすることにより、専門外の人でもＩＣＤ１０コードを入力しやすくした。

――医療意見書に複数の疾患名が併記されている場合は、主たる疾患名、または、最初に記載されている疾患名のＩＣＤ１０コードで登録する。

――医療意見書には、「都道府県・指定都市・中核市番号」、「保健所番号」を担当医が記載する箇所は作られていないが、全国的な登録・管理上は必要な内容である。新規登録時は、一つのボタンを押すと、「年度」とともに直前に入力したこれらの番号が自動的に画面上に表示されて、必要がある場合のみ訂正できるようにした。

――継続登録の場合は、前年度の申請内容を「保健所番号」、「受給者番号」等により検索して、画面上に表示させ、必要がある場合に訂正・入力等を行い、各年度の登録ができるよう

にした。

――「年度」、「都道府県・指定都市・中核市番号」、「受給者番号」、「ＩＣＤ１０コード」など、必要な情報が画面上に表示されていない場合は、そのミスに気づいて入力できるようにした。

――入力したデータの精度管理のため、一定数のデータ入力後は、医師などの専門家がデータチェックを行わねばならない。全項目の単純集計を行い、明らかにミスと考えられるデータは訂正する必要がある。

自治体によっては、県単独事業等も同時に管理できるように、ソフトは容易に加工・追加しうる様式で作成した。

全国的に一定の基準で入力するするためには、ソフトの取扱説明書の作成と同時に、一般事務職員や保健婦等のデータ入力担当者の研修、また、入力時の疑問点をどこか一カ所で取りまとめる必要がある。

「悪性新生物」の試作品では、一人分の入力に約２分を要している。そこで、以上のようにいろいろ工夫を行ったり、体制を整えることにより、「小慢」登録者年間約１２万人分の入力に約２４万分（４０００時間）を要する計算になる。常勤の勤務者２人がほぼ毎日、１年間入力する量に相当する。

疾患群が異なる複数の小慢疾患に罹患している患児の場合、各々の疾患群に重複して登録される。したがって、その人数分、小慢の全患児数は多めに登録される。しかし、それらの頻度は極めて少ないので実際上は問題とならないであろう。

同一の疾患群に属する複数の小慢疾患に罹患している場合、主たる疾患名のみで登録されるため、その人数分、合併した疾患の登録患児数は少なめに登録される。ただし、「慢性心疾患」を除けば、この頻度は少ない。

各都道府県等での入力時には、患児の名前と受給者番号、また疾患名を入力して登録管理することになるであろう。しかし、プライバシー保護の意味では、中央集計場所用には名前や疾患名、また出生年月日（成長ホルモン治療用意見書を除く）、意見書記載（診断）年月日は、出力しない。

Ⅲ、集計・解析に関して

１）各都道府県・指定都市・中核市での解析

各都道府県等の現場ごとに入力データの各種の解析を可能にするために、入力データを必要に応じて出力し、他の集計用ソフトウェアで活用できるようにした。詳細な分析に関しては、この方式が便利である。しかし、そのためにはコンピューター入出力に関する知識と、医療意見書の内容に関する知識が必要である。

そこでデータ入力後は、ボタンをクリックすることで、その画面上ですぐに、以下の集計内容が分析可能なソフトを作成した。手間と費用をかけない簡単な分析は、このソフトで行うのが便利である。ただし、プライバシー保護の意味で利用者は、小児慢性特定疾患対策協議会の許可を得なければならない。

――毎年入力される疾患群ごとの単純集計結果。すなわち、一年間に登録された保健所別、男女別、出生年別、発病年月別、疾病名（一般的な疾病名等でまとめたもの）別、症状別、検査結果別、合併症の有無別、経過別、入通院別等の登録者数の把握。

――疾患名別の発病率（新規診断）と罹患率（新規診断＋継続）の概要の把握、また、一年間に登録された保健所別、男女別、出生年別、

発病年月別、症状別、検査結果別、合併症の有無別、経過別、入通院別等の登録数の把握。各疾患ごと、また項目ごとの出力を可能にする。

――ただし、１０疾患群別の医療意見書では、２桁以上の場合は、１０個、または３０個にまとめて分類した頻度を、また適宜、平均値±標準偏差値を表示させる。１０個に分類した項目は、左方の数字(大きい桁数)が、０～９の間でばらつきが比較的大きい項目を選んだ。また、３０個に分類した項目は、左方の数字が００～２９でばらついている項目を選んだ。平均値±標準偏差値を表示させる項目は、数値で入力する比較的代表的な検査項目である。

判定基準等に基づいた値でのより正確な分類は、当面は出力したデータで行う。このデータに基づくソフト作成は、今後の研究課題である。

――体重と身長計測値が記入されている医療意見書に関しては、標準体重と肥満度（身長７０cm以上～暦年齢１７歳以下の場合、%表示）、またはカウプ指数（身長７０cm未満の場合）を、データ入力時に自動的に表示させる。

――成長ホルモン治療用意見書に関しては、上記の他、骨年齢／暦年齢、年月齢別の標準身長の－３．０ＳＤ値、－２．５ＳＤ値、－２．０ＳＤ値、成長速度が標準値の－１．５ＳＤ値、日割り計算に基づく年間成長率、成長ホルモン頂値や睡眠中成長ホルモン値のキット別補正値を、データ入力時に自動的に表示させる。

上記の内容を盛り込んだ取り扱い説明書を作成し、ソフトに添付する。

２）全国的な解析

各都道府県等が入力したデータは、全項目の単純集計や疾患別の集計を行うなどしてデータチェック後に、中央集計場所に送られるようにする。そのデータ収集方法に関して、当初は各種のトラブル発生時の解決・処理を円滑に行うため、また、プライバシー保護のため、ＦＤ等の郵送が好ましいであろう。しかし、将来的には、感染症サーベイランスの連絡網を活用して都道府県等または保健所が入力したデータを中央集計場所に送れると良いと考えられる。

ソフトは各都道府県単位で比較的容易に変更可能なものを作成するので、逆に全国的に統一した様式で変更することは、今後困難になる。そこで、各都道府県等へのソフトを作成・配布する前に、全国的な集計内容を考慮しなければならない。前記１）の内容は全国的にも解析可能になるように、各都道府県等のコンピューターの使用アプリケーションは、共通にしなければならない。

縦断的データとしては、次の内容でまとめるのが妥当であろう。「平成　年度」～「ＩＣＤ」は、新規入力時のみのデータを解析する。「現在の症状」は、新規入力時、及び、最新のデータを解析する。「診断の根拠」（悪性新生物のＦＡＢ分類を含む）は、新規または初回継続時のデータを、「合併症、経過、入通院」は、最新のデータのみを解析する。

ただし、小慢疾患の詳細な分析、全国的な分析は、来年度以降の研究として行いたい。検査結果や症状の組み合わせによる経過判定は、今後、専門医と協議しながら研究しなければならない。また、データベース化されない医療意見書の内容、また、毎年継続申請される医療意見書の内容処理方法は、来年度以降、専門医からの要望の有無と予算のかねあいで考えたい。患者家族の生活設計に役立てたり、治療法を改善したり、「特別児童扶養手当の支給」等の可否判定に利用可能にするなど、症状や検査結果に

よる予後の予測が少しでもできるように登録・集計システムのあり方を今後も検討したい。

3）ＩＣＤ１０に基づく登録管理

小慢疾患の国際比較をする意味では、ＷＨＯのＩＣＤ１０コードに準じる分類での登録管理が望まれる。そこで「小児慢性特定疾患早見表のＩＣＤコード」は、より国際疾病分類に準じるように一部訂正した。また、必要に応じて小数点一桁以下にＡＢＣの下位番号を付けて細分類を行った。ただし、あまり細かく分類しないで、できればわかりやすくまとめる方針で行った。

「小児慢性特定疾患早見表」の中には、現在ほとんど使用されない疾患名も存在するので、一部は削除した。しかし、現実的に申請される疾患名は、削除すると医療費の迅速な助成が行われなくなるなど、患児の申請時に不便となりうるので、早見表には残して登録可能なようにした。

登録・管理はＩＣＤ１０コードで行い、解析・統計上は、現在比較的使用される代表的な疾患名等で表記することとした。その際、適切な日本語がある疾患名は日本語の疾患名で表記したが、一部は英語で表記した。また、具体的な疾患名が不明のため大きくまとめた疾患名、逆に無理に細分類しても意味の少ない疾患名に関しては、それらの疾患名等で表記した。

今後、より適切な疾病名で分類・登録可能にするためには、以上から得られる全国的統計資料を参考にして、日本小児科学会やその分科会で小慢対象疾病の見直しを行い、疾病名を適宜、追加、削除していくことが望まれる。

Ⅳ、公表する解析結果

プライバシー保護に十分配慮しながら、当初は比較的単純な解析結果を、インターネット上や報告書等で提供したい。

各疾患１人のみ登録されたデータは、「ＩＣＤ」の登録の有無のみ提供する。

各疾患群と各疾患複数登録されたデータは、地域別、男女別、年齢別、年次別、月別、発病率（新規診断）、罹患率（「新規診断＋継続」で概要を把握する）の解析結果を提供する。

小慢疾患の登録管理が軌道にのってきたら、頻度の比較的高い疾患（原則として１００人以上の疾患）に関して、以下の解析結果を提供したい。各疾患群と各疾患の、主な診断基準（検査結果、症状など）の出現割合、経過、転帰などの解析結果や、各疾患別かつ、検査結果や症状別の、経過、転帰などの解析結果である。

行政上は、疾患群別登録者数（性別、記入時の年齢別、発病年齢別）、疾患群別、地域（都道府県、実施主体）別登録者数（性別、記入時の年齢別、発病年齢別）、疾患別登録者数（性別、記入時の年齢別、発病年齢別）、主な疾患別、都道府県別登録者数（性別、記入時の年齢別、発病年齢別）を公表することが望まれる。

謝辞：各々の意見書のデータベース化案に関しては、山梨医科大学中澤眞平教授、新潟大学内山聖教授、国立小児病院伊藤拓副院長、群馬大学森川昭廣教授、国立小児病院石澤瞭医長、旭川医科大学奥野晃正教授、鹿児島大学宮田晃一郎教授、北里大学松浦信夫教授、徳島大学黒田泰弘教授、信州大学小宮山淳教授、東北大学飯沼一宇教授、国立小児病院田中敏章部長の各専門医の先生方から貴重なご意見をいただきましたので、深謝申し上げます。

1)悪性新生物の医療意見書のデータベース化案（記載のない個所は入力しない）

項目		説明	桁数
１．平成　　年度	数	そのまま入力（右づめ）	2
２．都道府県等の番号	数	そのまま入力	2
３．保健所番号	数	そのまま入力	2
４．受給者番号	数	そのまま入力	7
５．新規・継続	1	新規診断（新規のみの○を含む）	1
	2	転入	
	3	継続	
	4	無記入、他	
６．男女	1	男	1
	2	女	
	3	無記入、他	
７－１．出生年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
７－２．　　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
７－３．　　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	

ただし、「７－１」～「７－３」は中央集計場所へは報告しない

項目		説明	桁数
＊７．記入時（診断時）の年月齢（「＊７」歳、「＊７」カ月）を表示する			２＋２
８．発病年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
９．発病月	１～１２	月頃の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
＊９．発病時の年月齢（「＊９」歳、「＊９」カ月）を表示する			２＋２
１０－１．診断名	文字	画面上に表示させ、登録可能にする	１５文字

ただし、この診断名は集計しない

項目		説明	桁数
１０－２．ＩＣＤ	文字	英語１桁、数３桁、英語１桁(左づめ) 小数点以下のない部分は入力しない	5

今年度の便宜的な分類、１桁（１：白血病「Ｃ９１～９５」、２：神経芽細胞腫「Ｃ７４．９」、３：脳腫瘍「Ｃ７１、Ｄ４３～４４．５」、４：網膜芽細胞腫「Ｃ６９．２」、５：ウイルムス腫瘍「Ｃ６４」、６：悪性リンパ腫「Ｃ８１．９、８３～８５」、７：骨肉腫「Ｃ４１．９」、８：奇形種「Ｄ３６．９」、９：その他）

項目		説明	桁数
１１．ＦＡＢ分類Ｌ	数	１～３	1
Ｍ	数	１～７	1
１２．骨髄ｽﾒｱｰの腫瘍細胞（　％）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ３％の場合は０３、１００％は９９	2
１３．ﾍﾟﾙｵｷｼﾀﾞｰｾﾞ	1	－（記載ない場合は入力しない）	1
	2	±	
	3	＋	
	4	無記入、他	
１４．ｴｽﾃﾗｰｾﾞ	同上		1
１５．VMA	1	正常（記載ない場合は入力しない）	1
	2	境界	
	3	異常	
	4	無記入、他	
１６．HVA	同上		1
１７．NSE	同上		1
１８．AFP	同上		1
１９．CEA	同上		1
２０．HCG	同上		1
２１．ferritin	同上		1
２２．ＣＴ	1	未実施	1
	2	実施のみの記載で所見の記載なし	
	3	所見：無	
	4	所見：有	
	5	無記入、他	

２３．ＭＲＩ	同上		1
２４．アンギオ	同上		1
２５．染色体検査	同上		1
２６．ＤＮＡ診断	同上		1
２７．合併症	1	無	1
	2	有、合併症に○、記載がある場合を含む	
	3	無記入、他	
２８．神経芽細胞腫の場合	1	マススクリーニングで発見	1
	2	その他のみに○	
	3	ﾏｽｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ受検：有、その他に○も含む	
	4	ﾏｽｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ受検：無、その他に○も含む	
	5	無記入、他	
２９．経過	1	治癒	1
	2	寛解	
	3	改善（改善と不変に○を含む）	
	4	不変	
	5	再燃（再燃と不変に○を含む）	
	6	悪化（悪化と不変に○を含む）	
	7	死亡	
	8	判定不能	
	9	その他（上記以外、2カ所以上に○、無記入）	
３０－１．診断年	数	平成の年を入力（右づめ）	2
３０－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
３０－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	

ただし、「３０－１」～「３０－３」は中央集計場所へは報告しない

合計　５７桁

（新規入力項目は、全５７桁＋文字、毎年継続する入力項目は、個人識別番号「２～４」１１桁の確認と「１２～３０」の２５桁、１０年間で２８２桁）

各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力したい内容
＊全項目の単純集計。＊７、＊９を含む。
＊「１０－２、１１」別の、１～６、＊７、８、９、＊９、１２～２９の頻度。
ただし、２桁の「１２」は、左方の数字で１０個に分類した頻度。

表、今年度の便宜的な分類別頻度

疾病名	年齢	件数	率（%）
白血病	0	1	2.0
白血病	2	2	4.1
白血病	4	1	2.0
白血病	5	1	2.0
白血病	6	5	10.2
白血病	7	2	4.1
白血病	13	1	2.0
白血病	16	2	4.1
神経芽細胞腫	1	2	4.1
神経芽細胞腫	2	2	4.1
脳腫瘍	7	1	2.0
脳腫瘍	8	5	10.2
脳腫瘍	11	1	2.0
脳腫瘍	12	1	2.0
網膜芽細胞腫	0	1	2.0
網膜芽細胞腫	2	1	2.0
ウイルムス腫瘍	2	2	4.1
悪性リンパ腫	0	1	2.0
悪性リンパ腫	2	2	4.1
悪性リンパ腫	3	1	2.0
悪性リンパ腫	4	1	2.0
悪性リンパ腫	14	1	2.0
奇形腫	0	1	2.0
その他	0	4	8.2
その他	2	1	2.0
その他	5	1	2.0
その他	15	3	6.1
その他	17	2	4.1
合計		49	100.0%

閉じる

2)慢性腎疾患の医療意見書のデータベース化案（記載のない個所は入力しない）

項目		説明	桁数
１．平成　年度	数	そのまま入力（右づめ）	2
２．都道府県等の番号	数	そのまま入力	2
３．保健所番号	数	そのまま入力	2
４．受給者番号	数	そのまま入力	7
５．新規・継続	1	新規診断（新規のみの○を含む）	1
	2	転入	
	3	継続	
	4	無記入、他	
６．男女	1	男	1
	2	女	
	3	無記入、他	
７－１．出生年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
７－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
７－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	
ただし、「７－１」～「７－３」は中央集計場所へは報告しない			
＊７．記入時（診断時）の年月齢（「＊７」歳、「＊７」カ月）を表示する			２＋２
８．発病年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
９．発病月	１～１２	月頃の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
＊９．発病時の年月齢（「＊９」歳、「＊９」カ月）を表示する			２＋２
１０－１．疾患名	文字	画面上に表示させ、登録可能にする	１５文字
ただし、この疾患名は集計しない			
１０－２．ＩＣＤ	文字	英語１桁、数３桁、英語１桁(左づめ) 小数点以下のない部分は入力しない	5
１１．血尿	1	無	1
	2	有のみに○	
	3	肉眼的血尿に○	
	4	無記入、他	
１２．　／視野	1	０～５／視野、正常範囲 （複数記載の場合は平均値）	1
	2	６～２０／視野 微少血尿で単独であれば殆ど問題無い	
	3	２１～５０／視野、血尿	
	4	５１～１００／視野、血尿	
	5	１００以上／視野 「肉眼的血尿」「多数」を含む	
	6	無記入、他	
１３．蛋白尿	1	無	1
	2	有	
	3	無記入、他	
１４．　mg/dl	1	０～９、正常範囲 （複数記載の場合は平均値）	1
	2	１０～３０、±、境界領域	
	3	３１～５０、＋、軽度蛋白尿	
	4	５１～１００、＋＋、中程度蛋白尿	
	5	１０１～３００、＋＋＋、高度蛋白尿	
	6	３０１～１０００、＋＋＋＋	
	7	１００１以上、＋＋＋＋＋	
	8	無記入、他	
１５．血清総蛋白	数	小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	2
画面上(　.　g/dl)を表示する　９．９以上は、９．９			

項目	コード	内容	桁
１６．アルブミン	数	小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	2
画面上（　．g/dl)を表示する		９．９以上は、９．９	
１７．クレアチニン	数	小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	2
画面上（　．mg/dl)を表示する		９．９以上は、９．９	
１８．総コレステロール（ mg/dl)	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ４０は０４０、９９９以上は９９９	3
１９．ＩｇＡ（ mg/dl)	同上		3
２０．Ｃ３（ mg/dl)	同上		3
２１．腎エコー	1	未実施	1
	2	実施のみの記載で所見の記載なし	
	3	特記すべき所見：無	
	4	特記すべき所見：有	
	5	無記入、他	
２２．腎生検	1	未実施	1
	2	実施（所見の記載がある場合を含む）	
	3	無記入、他	
２３．合併症	1	無	1
	2	有、合併症に○、記載がある場合を含む	
	3	無記入、他	
２４．経過	1	治癒	1
	2	寛解	
	3	改善（改善と不変に○を含む）	
	4	不変	
	5	再燃（再燃と不変に○を含む）	
	6	悪化（悪化と不変に○を含む）	
	7	死亡	
	8	判定不能	
	9	その他（上記以外、２カ所以上に○、無記入）	
２５－１．診断年	数	平成の年を入力（右づめ）	2
２５－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
２５－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	

ただし、「２５－１」～「２５－３」は中央集計場所へは報告しない

合計　５９桁

（新規入力項目は、全５９桁＋文字、毎年継続する入力項目は、個人識別番号「２～４」１１桁の確認と「１１～２５」の２９桁、１０年間で３２０桁）

各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力したい内容

＊全項目の単純集計。＊７、＊９を含む。
＊「１０－２」別の、１～６、＊７、８、９、＊９、１１～２４の頻度。
ただし、２～３桁の「１５～１９」は、左方の数字で１０個に分類した頻度。「２０」は、左方２桁の数字で３０個（００、０１、～、２８、２９以上）に分類した頻度。「１５～１８」は、平均値±標準偏差値も算出する。

3)ぜんそくの医療意見書のデータベース化案（記載のない個所は入力しない）

項目		説明	桁数
１．平成　年度	数	そのまま入力（右づめ）	2
２．都道府県等の番号	数	そのまま入力	2
３．保健所番号	数	そのまま入力	2
４．受給者番号	数	そのまま力入	7
５．新規・継続	1	新規診断（新規のみの○を含む）	1
	2	転入	
	3	継続	
	4	無記入、他	
６．男女	1	男	1
	2	女	
	3	無記入、他	
７－１．出生年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
７－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
７－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	
ただし、「７－１」～「７－３」は中央集計場所へは報告しない			
＊７．記入時（診断時）の年月齢（「＊７」歳、「＊７」カ月）を表示する			２＋２
８．発病年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
９．発病月	１～１２	月頃の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
＊９．発病時の年月齢（「＊９」歳、「＊９」カ月）を表示する			２＋２
１０－１．疾患名	文字	画面上に表示させ、登録可能にする	１５文字
ただし、この疾患名は集計しない			
１０－２．ＩＣＤ	文字	英語１桁、数３桁、英語１桁(左づめ) 小数点以下のない部分は入力しない	5
１１．重症度「軽」	1	年数回以内、中発作	1
	2	年数回以内、小発作	
	3	半年に数回、小発作	
	4	「軽」に複数○、最上段「軽」に○あり	
	5	無記入、他	
１２．重症度「中」	1	年数回以内、大発作	1
	2	半年に数回、中発作	
	3	月に数回、小発作	
	4	「中」に複数○、最上段「中」に○あり	
	5	無記入、他	
１３．重症度「重」１	1	半年に数回、大発作	1
	2	月に数回、大発作	
	3	月に数回、中発作	
	4	前記「重」に複数○、最上段「重」に○	
	5	無記入、他	
１４．重症度「重」２	1	ステロイド依存例	1
	2	１年以内に意識障害を伴う大発作	
	3	前記「重」２つとも○あり	
	4	無記入、他	
１５．治療点数	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ２は００２、９９９以上は９９９	3
１６．IgE(　U/ml)	００	０～９９	2
	０１	１００～１９９	
	０２	２００～２９９	
		～	
	９８	９８００～９８９９	
	９９	９９００以上	
１７．RAST陽性抗原	数	記載された個数、９以上は９	1

項目	コード	内容	桁
１８．末梢血好酸球(/mm^3)	００	０～９９	2
	０１	１００～１９９	
		～	
	９９	９９００以上	
１９．喀痰・鼻汁の好酸球	1	－、±を含む	1
	2	＋	
	3	＋＋	
	4	＋＋＋	
	5	その他	
	6	無記入、他	
２０．$FEV_{1.0}$(ml)	００	０～９９	2
	０１	１００～１９９	
		～	
	９９	９９００以上	
２１．%$FEV_{1.0}$(%)	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ３%の場合は０３、１００%は９９	2
２２．%PEF (%)	同上		2
２３．改善率 (%)	同上		2
２４．気道過敏性	1	未実施	1
	2	実施のみの記載で過敏性の記載なし	
	3	過敏性：無	
	4	過敏性：有	
	5	無記入、他	
２５．合併症	1	無	1
	2	有、合併症に○、記載がある場合を含む	
	3	無記入、他	
２６．経過	1	治癒	1
	2	寛解	
	3	改善（改善と不変に○を含む）	
	4	不変	
	5	再燃（再燃と不変に○を含む）	
	6	悪化（悪化と不変に○を含む）	
	7	死亡	
	8	判定不能	
	9	その他(上記以外、２カ所以上に○、無記入)	
２７－１．診断年	数	平成の年を入力（右づめ）	2
２７－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
２７－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	

ただし、「２７－１」～「２７－３」は中央集計場所へは報告しない

合計　６０桁

（新規入力項目は、全６０桁＋文字、毎年継続する入力項目は、個人識別番号「２～４」１１桁の確認と「１１～２７」の３０桁、１０年間で３３０桁）

各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力したい内容
＊全項目の単純集計。＊７、＊９を含む。
＊「１０－２」別の、１～６、＊７、８、９、＊９、１１～２６の頻度。
ただし、「１５、１６、１８、２１～２３」は、左方の数字で１０個に分類した頻度。「２０」は、３０個（００、０１、～、２８、２９以上）に分類した頻度。また、これらは平均値±標準偏差値も算出する。

4)慢性心疾患の医療意見書のデータベース化案（記載のない個所は入力しない）

項目		説明	桁数
１．平成　年度	数	そのまま入力（右づめ）	2
２．都道府県等の番号	数	そのまま入力	2
３．保健所番号	数	そのまま入力	2
４．受給者番号	数	そのまま力入	7
５．新規・継続	1	新規診断（新規のみの○を含む）	1
	2	転入	
	3	継続	
	4	無記入、他	
６．男女	1	男	1
	2	女	
	3	無記入、他	
７－１．出生年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
７－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
７－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	
ただし、「７－１」～「７－３」は中央集計場所へは報告しない			
＊７．記入時（診断時）の年月齢（「＊７」歳、「＊７」カ月）を表示する			２＋２
８．発病年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
９．発病月	１～１２	月頃の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
＊９．発病時の年月齢（「＊９」歳、「＊９」カ月）を表示する			２＋２
１０－１．疾患名	文字	画面上に表示させ、登録可能にする ただし、この疾患名は集計しない	１５文字
１０－２．ＩＣＤ	文字	英語１桁、数３桁、英語１桁(左づめ) 小数点以下のない部分は入力しない	5
１１．チアノーゼ	1	有	1
	2	無	
	3	無記入、他	
１２．哺乳力低下(食欲不振)	同上		1
１３．多呼吸	同上		1
１４．体重増加不良	同上		1
１５．体重（　kg）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ９９以上は９９	2
１６．易感染性	1	有	1
	2	無	
	3	無記入、他	
１７．易疲労性（運動制限）	同上		1
１８．心雑音	1	無	1
	2	有のみに○	
	3	収縮期に○（有の○を含む）	
	4	拡張期に○（有の○を含む）	
	5	連続性雑音に○（有の○を含む）	
	6	（　）内の複数個に○(実在しないはず)	
	7	無記入、他	
１９．心電図１	1	正常	1
	2	右室肥大	
	3	左室肥大	
	4	両室肥大	
	5	無記入、他	
２０．心電図２	1	右房肥大	1
	2	左房肥大	
	3	右房、左房肥大ともに○	
	4	無記入、他	

２１．不整脈	1	無	1
	2	有	
	3	診断名のみに記載あり	
	4	無記入、他	
２２．心胸郭比（　%）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） 99以上の場合は99(実在しないはず)	2
２３．肺血流	1	正常	1
	2	増加	
	3	減少	
	4	無記入、他	
２４．心エコー	1	未実施に○	1
	2	実施または所見に○	
	3	所見の自由記載のみあり	
	4	無記入、他	
２５．心臓カテーテル検査	1	未実施	1
	2	実施	
	3	無記入、他	
２６．動脈血酸素飽和度％	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ３％の場合は０３、１００％は９９	2
２７．肺動脈圧分子	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ２は００２、９９９以上は９９９	3
２８．　　　　分母	同上		3
２９．　　　　平均圧mmHg	同上		3
３０．右室圧　分子	同上		3
３１．　　　　分母	同上		3
３２．左室圧　分子	同上		3
３３．　　　　分母	同上		3
３４．大動脈圧分子	同上		3
３５．　　　　分母	同上		3
３６．　　　　平均圧mmHg	同上		3
３７．Ｑｐ／Ｑｓ 画面上（　．　）を表示する	数	小数点２桁以下は切り捨て（右づめ） 分数で記載されている場合は計算する ９．９以上は９．９	2
３８．Ｒｐ／Ｒｓ（　．　）	同上		2
３９．合併症	1	無	1
	2	有、合併症に○、記載がある場合を含む	
	3	無記入、他	
４０．経過	1	治癒	1
	2	寛解	
	3	改善（改善と不変に○を含む）	
	4	不変	
	5	再燃（再燃と不変に○を含む）	
	6	悪化（悪化と不変に○を含む）	
	7	死亡　　　8　判定不能	
	9	その他（上記以外、２カ所以上に○、無記入）	
４１－１．診断年	数	平成の年を入力（右づめ）	2
４１－２．　　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
４１－３．　　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	

ただし、「４１－１」～「４１－３」は中央集計場所へは報告しない

合計　９１桁

（新規入力項目は、全９１桁＋文字、毎年継続する入力項目は、個人識別番号「２～４」１１桁の確認と「１１～４１」の６１桁、１０年間で６４０桁）

各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力したい内容
＊全項目の単純集計。＊７、＊９を含む。
＊「１０－２」別の、１～６、＊７、８、９、＊９、１１～２６、３９、４０の頻度。ただし、「２２、２６、３７、３８」は、左方の数字で１０個に分類した頻度。「１５、２７～３６」は、左方２桁の数字で３０個（００、０１、～２８、２９以上）に分類した頻度。

5)内分泌疾患の医療意見書のデータベース化案（記載のない個所は入力しない）

項目		説明	桁数
１．平成　　年度	数	そのまま入力（右づめ）	2
２．都道府県等の番号	数	そのまま入力	2
３．保健所番号	数	そのまま入力	2
４．受給者番号	数	そのまま入力	7
５．新規・継続	1	新規診断（新規のみの○を含む）	1
	2	転入	
	3	継続	
	4	無記入、他	
６．男女	1	男	1
	2	女	
	3	無記入、他	
７－１．出生年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
７－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
７－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	
ただし、「７－１」～「７－３」は中央集計場所へは報告しない			
＊７．記入時（診断時）の年月齢（「＊７」歳、「＊７」カ月）を表示する			２＋２
８．発病年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
９．発病月	１～１２	月頃の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
＊９．発病時の年月齢（「＊９」歳、「＊９」カ月）を表示する			２＋２
１０－１．疾患名	文字	画面上に表示させ、登録可能にする ただし、この疾患名は集計しない	１５文字
１０－２．ＩＣＤ	文字	英語１桁、数３桁、英語１桁(左づめ) 小数点以下のない部分は入力しない	5
１１．現在：平成　年	数	そのまま入力（右づめ）	2
１２．身長（　　cm）	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	3
１３．体重（　　kg）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ９９以上は９９	2
＊１３．標準体重と肥満度（身長７０cm以上～１７歳の場合、％表示）、 または、カウプ指数（身長７０cm未満の場合）を表示する			３＋３ 2
１４．二次性徴Ｂ／Ｇ	数	１～５	1
１５．　　　ＰＨ	数	１～５	1
１６．先天性　～の場合	1	新生児スクリーニングで発見	1
	2	他で発見	
	3	無記入、他	
１７．合併症	1	無	1
	2	有、合併症に○、記載がある場合を含む	
	3	無記入、他	
１８．経過	1	治癒	1
	2	寛解	
	3	改善（改善と不変に○を含む）	
	4	不変	
	5	再燃（再燃と不変に○を含む）	

	６	悪化（悪化と不変に○を含む）	
	７	死亡	
	８	判定不能	
	９	その他(上記以外、２カ所以上に○、無記入)	
１９－１．診断年	数	平成の年を入力（右づめ）	２
１９－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	２
	１３	無記入、他	
１９－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	２
	３２	無記入、他	

ただし、「１９－１」～「１９－３」は中央集計場所へは報告しない

合計　４８桁

（新規入力項目は、全４８桁＋文字、毎年継続する入力項目は、個人識別番号「２～４」１１桁の確認と「１１～１９」の１８桁、１０年間で２１０桁）

各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力したい内容
＊全項目の単純集計。＊７、＊９、＊１３を含む。
＊「１０－２」別の、１～６、＊７、８、９、＊９、１１～１８、＊１３の頻度。
ただし、「１２、＊１３カウプ指数」は、左方２桁の数字で３０個（００、０１、～、　２８、２９以上）に分類した頻度と、平均値±標準偏差値も算出する。「１３」は、左方の数字で１０個に分類した頻度と、平均値±標準偏差値も算出する。「＊１３標準体重」は計算しない。「＊１３肥満度」は、「－９０以下、－８９～－８０、～、－２９～－２０、－１９～－１５、－１４～－１０、－０９～－００、＋００～＋０９、＋１０～＋１４、＋１５～＋１９、＋２０～＋２９、～、＋８０～＋８９、＋９０以上」の２２個に分類した頻度。

6)膠原病の医療意見書のデータベース化案（記載のない個所は入力しない）

項目		説明	桁数
１．平成　年度	数	そのまま入力（右づめ）	２
２．都道府県等の番号	数	そのまま入力	２
３．保健所番号	数	そのまま入力	２
４．受給者番号	数	そのまま入力	７
５．新規・継続	１	新規診断（新規のみの○を含む）	１
	２	転入	
	３	継続	
	４	無記入、他	
６．男女	１	男	１
	２	女	
	３	無記入、他	
７－１．出生年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	２
７－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	２
	１３	無記入、他	
７－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	２
	３２	無記入、他	
ただし、「７－１」～「７－３」は中央集計場所へは報告しない			
＊７．記入時（診断時）の年月齢（「＊７」歳、「＊７」カ月）を表示する			２＋２
８．発病年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	２
９．発病月	１～１２	月頃の数字を入力（右づめ）	２
	１３	無記入、他	
＊９．発病時の年月齢（「＊９」歳、「＊９」カ月）を表示する			２＋２
１０－１．疾患名	文字	画面上に表示させ、登録可能にする	１５文字
ただし、この疾患名は集計しない			
１０－２．ＩＣＤ	文字	英語１桁、数３桁、英語１桁(左づめ) 小数点以下のない部分は入力しない	５
１１．関節症状	１	無	１
	２	有、主症状に記載のあるものを含む	
	３	無記入、他	
１２．皮膚症状	同上		１
１３．発熱	１	無	１
	２	有	
	３	無記入、他	
１４．レイノー症状	同上		１
１５．眼症状	１	無	１
	２	有、（　　）に記載のあるものを含む	
	３	無記入、他	
１６．口腔内症状	同上		１
１７．赤沈（　mm)	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ３は０３、９９以上は９９	２
１８．ＣＲＰ（　mg/dl)	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ９以上は９	１
１９．白血球	１	増（増と正常に○を含む）	１
	２	正常	
	３	減（正常と減に○を含む）	
	４	無記入、他	
２０．血清総蛋白	数	小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	２
画面上（　．　g/dl)を表示する　９．９以上は、９．９			
２１．γグロブリン値	同上		２
画面上（　．　g/dl)を表示する			
２２．抗核抗体	１	（－）、陰性	１
	２	20倍未満（正常）	
	３	20倍～80倍未満	
	４	80倍～320倍未満	
	５	320倍～1280倍未満	

	6	1280倍以上	
	7	無記入、他	
２３．抗ＤＮＡ抗体	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	2
２４．抗ＲＮＰ抗体	1	−	1
	2	±	
	3	＋	
	4	無記入、他	
２４．ＲＡ	同上		1
２５．生検	1	未実施	1
	2	実施、部位・病理所見の記載を含む	
	3	無記入、他	
２６．合併症	1	無	1
	2	有、合併症に○、記載がある場合を含む	
	3	無記入、他	
２７．経過	1	治癒	1
	2	寛解	
	3	改善（改善と不変に○を含む）	
	4	不変	
	5	再燃（再燃と不変に○を含む）	
	6	悪化（悪化と不変に○を含む）	
	7	死亡	
	8	判定不能	
	9	その他（上記以外、２カ所以上に○、無記入）	
２８−１．診断年	数	平成の年を入力（右づめ）	2
２８−２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
２８−３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	

ただし、「２８−１」～「２８−３」は中央集計場所へは報告しない

合計　５８桁

（新規入力項目は、全５８桁＋文字、毎年入力する記載項目は、個人識別番号「２～４」１１桁の確認と「１１～２８」の２８桁、１０年間で３１０桁）

各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力したい内容

＊全項目の単純集計。＊７、＊９を含む。
＊「１０−２」別の、１～６、＊７、８、９、＊９、１１～２７の頻度。
ただし、「１７、２０、２１、２３」は、左方の数字で１０個に分類した頻度。と、平均値±標準偏差値を算出する。

7)糖尿病の医療意見書のデータベース化案
（記載のない個所は入力しない、糖尿病は項目数が多いので、他の疾患群とのバランス上、主要な項目のみデータベース化をおこなった）

項目		説明	桁数
1．平成　年度	数	そのまま入力（右づめ）	2
2．都道府県等の番号	数	そのまま入力	2
3．保健所番号	数	そのまま入力	2
4．受給者番号	数	そのまま入力	7
5．新規・継続	1	新規診断（新規のみの○を含む）	1
	2	転入	
	3	継続	
	4	無記入、他	
6．男女	1	男	1
	2	女	
	3	無記入、他	
7－1．出生年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
7－2．　月	1～12	月の数字を入力（右づめ）	2
	13	無記入、他	
7－3．　日	1～31	日の数字を入力（右づめ）	2
	32	無記入、他	
ただし、「7－1」～「7－3」は中央集計場所へは報告しない			
＊7．記入時（診断時）の年月齢（「＊7」歳、「＊7」カ月）を表示する			2＋2
8．発病年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
9．発病月	1～12	月頃の数字を入力（右づめ）	2
	13	無記入、他	
＊9．発病時の年月齢（「＊9」歳、「＊9」カ月）を表示する			2＋2
10－1．疾患名	文字	画面上に表示させ、登録可能にする ただし、この疾患名は集計しない	15文字
10－2．ＩＣＤ	文字	英語1桁、数3桁、英語1桁(左づめ) 小数点以下のない部分は入力しない	5
11．現在：平成　年	数	そのまま入力（右づめ）	2
12．身長（　cm）	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	3
13．体重（　kg）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） 99以上は99	2
＊13．標準体重と肥満度（身長70cm以上～17歳の場合、％表示）、または、カウプ指数（身長70cm未満の場合）を表示する			3＋3 2
14．多尿・多飲	1	多尿・多飲に○がある （　年　月頃より）の記載を含む	1
	2	多尿のみに○がある	
	3	多飲のみに○がある	
	4	無記入、他	
15．体重減少	1	体重減少に○、（　年　月）の記載を含む	1
	2	無記入、他	
16．全身倦怠	1	全身倦怠に○、（　年　月）の記載を含む	1
	2	無記入、他	
17．意識障害	1	意識障害、または意識障害・昏睡に○	1
	2	無記入、他	
18．昏睡	1	昏睡、または意識障害・昏睡に○	1
	2	無記入、他	

病型：IDDMの場合，「ICD」がE10.9(またはE14.0～E14.4)を確認する。
NIDDMの場合，「ICD」がE11.9(またはE14.0～E14.4)を確認する。
分類不能の場合，「ICD」がE14.9(またはE14.*)であることを確認する。
異なる場合は、各々、E10.9、E11.9、E14.9を「10．ICD」に入力し直す。

項目		説明	桁数
19－1．血糖値	1	随時血糖値に○	1
	2	空腹時血糖値に○	
	3	随時・空腹が不明、無記入	
－2　（　mg/dl）	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	3

		３０は０３０、９９９以上は９９９	
２０．Insulin(　μU/ml)	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	２
		３は０３、９９以上は９９	
２１．HbA1c	数	小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	３
画面上(　．　%)を表示する			
		８．０は０８．０、９９．９以上は９９．９	
２２－１．尿糖値	１	随時尿糖値に○	１
	２	早朝尿糖値に○	
	３	随時・早朝が不明、無記入	
－２　(　g/dl)	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	２
		３は０３、９９以上は９９	
２３．ケトン尿	１	－、±を含む	１
	２	＋	
	３	＋＋	
	４	＋＋＋	
	５	＋＋＋＋以上	
	６	無記入、他	
２４．蛋白尿	１	－、±を含む	１
	２	＋	
	３	＋＋	
	４	＋＋＋以上	
	５	無記入、他	
２５．クレアチニン	数	小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	２
画面上(　．　mg/dl)を表示する		９．９以上は、９．９	
２６．GOT(　mIU／ml)	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	３
		４０は０４０、９９９以上は９９９	
２７．総コレステロール(　mg/dl)	同上		３
２８．O-GTT(　g負荷)	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	３
		５０は０５０、９９９以上は９９９	
２９．前(　mg/dl)	同上		３
３０．１時間(　mg/dl)	同上		３
３１．２時間(　mg/dl)	同上		３
３２．糖尿病性合併症	１	無	１
	２	有、糖尿病性合併症に○の記載を含む	
	３	無記入、他	
３３．その他の合併症	１	無	１
	２	有、その他の合併症に○の記載を含む	
	３	無記入、他	
３４．経過	１	治癒	１
	２	寛解	
	３	改善（改善と不変に○を含む）	
	４	不変	
	５	再燃（再燃と不変に○を含む）	
	６	悪化（悪化と不変に○を含む）	
	７	死亡	
	８	判定不能	
	９	その他(上記以外、２カ所以上に○、無記入)	
３５－１．診断年	数	平成の年を入力（右づめ）	２
３５－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	２
	１３	無記入、他	
３５－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	２
	３２	無記入、他	

ただし、「３５－１」～「３５－３」は中央集計場所へは報告しない

合計　８５桁

（新規入力項目は、全８５桁＋文字、毎年入力する記載項目は、個人識別番号「２～４」１１桁の確認と「１１～３５」の５５桁、１０年間で５８０桁）

各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力したい内容

以下、P群とは、｛「１９－１」別の「１９－２」、「２２－１」別の「２２－２」、「２８」(45～54g負荷、70～79g負荷、95～104g負荷の場合)別の「２９～３１」の単純集計｝とする。

＊P群、＊７、＊９、＊１３を含む全項目の単純集計。
＊「１０－２」別の、１～６、＊７、８、９、＊９、１１～３４、＊１３、P群の頻度。
ただし、「１３、１９－２、２０、２５～２７」は、左方の数字で１０個に分類した頻度と、平均値±標準偏差値。「１２、＊１３カウプ指数、２１、２２－２、２８～３１」は、左方２桁の数字で３０個（００、０１、～、２８、２９以上）に分類した頻度。「＊１３標準体重」は計算しない。「＊１３肥満度」は、「－９０以下、－８９～－８０、～、－２９～－２０、－１９～－１５、－１４～－１０、－０９～－００、＋００～＋０９、＋１０～＋１４、＋１５～＋１９、＋２０～＋２９、～、＋８０～＋８９、＋９０以上」の２２個に分類した頻度。

8)先天性代謝異常の医療意見書のデータベース化案

（記載のない個所は入力しない）

項目		説明	桁数
１．平成　年度	数	そのまま入力（右づめ）	2
２．都道府県等の番号	数	そのまま入力	2
３．保健所番号	数	そのまま入力	2
４．受給者番号	数	そのまま入力	7
５．新規・継続	1	新規診断（新規のみの○を含む）	1
	2	転入	
	3	継続	
	4	無記入、他	
６．男女	1	男	1
	2	女	
	3	無記入、他	
７－１．出生年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
７－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
７－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	
ただし、「７－１」～「７－３」は中央集計場所へは報告しない			
＊７．記入時（診断時）の年月齢（「＊７」歳、「＊７」カ月）を表示する			２＋２
８．発病年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
９．発病月	１～１２	月頃の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
＊９．発病時の年月齢（「＊９」歳、「＊９」カ月）を表示する			２＋２
１０－１．疾患名	文字	画面上に表示させ、登録可能にする	１５文字
ただし、この疾患名は集計しない			
１０－２．ＩＣＤ	文字	英語１桁、数３桁、英語１桁(左づめ) 小数点以下のない部分は入力しない	5
１１．マススクリーニング	1	ﾏｽｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞで発見に○がある場合	1
	2	無記入、他	
１２．知的障害	1	知的障害に○の場合	1
	2	無記入、他	
１３．痙攣	1	痙攣に○の場合	1
	2	無記入、他	
１４．成長障害	1	成長障害に○の場合	1
	2	無記入、他	
１５．嘔吐	1	嘔吐に○の場合	1
	2	無記入、他	

１６．下痢	1	下痢に○の場合	1
	2	無記入、他	
１７．肝腫	1	肝腫に○の場合	1
	2	無記入、他	
１８．特異顔貌	1	特異顔貌に○の場合	1
	2	無記入、他	
１９．眼科的異常	1	眼科的異常に○の場合	1
	2	無記入、他	
２０．骨変形	1	骨変形に○の場合	1
	2	無記入、他	
２１．尿路結石	1	尿路結石に○の場合	1
	2	無記入、他	
２２．その他	1	その他に○、（　）内の記載を含む	1
	2	無記入、他	
２３．アミノ酸	1	アミノ酸に○の場合	1
	2	無記入、他	
２４．有機酸	1	有機酸に○の場合	1
	2	無記入、他	
２５．脂質	1	脂質に○の場合	1
	2	無記入、他	
２６．アンモニア	1	ｱﾝﾓﾆｱに○の場合	1
	2	無記入、他	
２７．ｐＨ	1	ｐＨに○の場合	1
	2	無記入、他	
２８．セルロプラスミン	1	ｾﾙﾛﾌﾟﾗｽﾐﾝに○の場合	1
	2	無記入、他	
２９．グルコース	1	ｸﾞﾙｺｰｽに○の場合	1
	2	無記入、他	
３０．銅	1	銅に○の場合	1
	2	無記入、他	
３１．乳酸	1	乳酸に○の場合	1
	2	無記入、他	
３２．ピルビン酸	1	ﾋﾟﾙﾋﾞﾝ酸に○の場合	1
	2	無記入、他	
３３．その他の血液分析	1	「23～32」以外で血液分析・実施に○ (所見　)のみに記載がある場合を含む	1
	2	無記入、他	
３４．アミノ酸	1	アミノ酸に○の場合	1
	2	無記入、他	
３５．有機酸	1	有機酸に○の場合	1
	2	無記入、他	
３６．ムコ多糖体	1	ムコ多糖体に○の場合	1
	2	無記入、他	
３７．グルコース	1	グルコースに○の場合	1
	2	無記入、他	
３８．蛋白	1	蛋白に○の場合、他は無記入	1
	2	無記入、他	
３９．その他の尿分析	1	「34～38」以外で尿分析・実施に○ (所見　)のみに記載がある場合を含む	1
	2	無記入、他	
４０．負荷テスト	1	未実施に○	1
	2	実施または所見に○	
	3	所見の自由記載のみあり	
	4	無記入、他	
４１．酵素活性測定	同上		1
４２．遺伝子解析	同上		1
４３．骨Ｘ線検査	同上		1
４４．合併症	1	無	1
	2	有、合併症に○、記載がある場合を含む	

	３	無記入、他	
４５．知能指数	数	５０は０５０	３
４６．就学状況	１	通常学級	１
	２	障害児学級	
	３	養護学校	
	４	訪問教育	
	５	その他	
	６	無記入、他	
４７．経過	１	治癒	１
	２	寛解	
	３	改善（改善と不変に○を含む）	
	４	不変	
	５	再燃（再燃と不変に○を含む）	
	６	悪化（悪化と不変に○を含む）	
	７	死亡	
	８	判定不能	
	９	その他（上記以外、２カ所以上に○、無記入）	
４８－１．診断年	数	平成の年を入力（右づめ）	２
４８－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	２
	１３	無記入、他	
４８－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	２
	３２	無記入、他	

ただし、「４８－１」～「４８－３」は中央集計場所へは報告しない。

合計　７５桁

（新規入力項目は、全７５桁＋文字、毎年継続する入力項目は、個人識別番号「２～４」１１桁の確認と「１１～４８」の４５桁、１０年間で４８０桁）

各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力したい内容
＊全項目の単純集計。＊７、＊９を含む。
＊「１０－２」別の、１～６、＊７、８、９、＊９、１１～４７の頻度。
ただし、「４５」は、左方２桁の数字で３０個（００、０１、～、２８、２９以上）に分類した頻度と、平均値±標準偏差値を算出する。

9)血友病等血液疾患の医療意見書のデータベース化案（記載のない個所は入力しない。血友病等血液疾患は項目数が多いので、一部データベース化を省略した。）

項目		説明	桁数
１．平成　年度	数	そのまま入力（右づめ）	２
２．都道府県等の番号	数	そのまま入力	２
３．保健所番号	数	そのまま入力	２
４．受給者番号	数	そのまま入力	７
５．新規・継続	１	新規診断（新規のみの○を含む）	１
	２	転入　３　継続　４　無記入、他	
６．男女	１	男	１
	２	女	
	３	無記入、他	
７－１．出生年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	２
７－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	２
	１３	無記入、他	
７－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	２
	３２	無記入、他	

ただし、「７－１」～「７－３」は中央集計場所へは報告しない
＊７．記入時（診断時）の年月齢（「＊７」歳、「＊７」カ月）を表示する２＋２

項目	区分	内容	桁
8．発病年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	2
9．発病月	1～12	月頃の数字を入力（右づめ）	2
	13	無記入、他	
＊9．発病時の年月齢（「＊9」歳、「＊9」カ月）を表示する			2＋2
10－1．疾患名	文字	画面上に表示させ、登録可能にする ただし、この疾患名は集計しない	15文字
10－2．ICD	文字	英語1桁、数3桁、英語1桁(左づめ) 小数点以下のない部分は入力しない	5
11．発熱	1	発熱に○の場合	1
	2	無記入、他	
12．鼻出血	1	鼻出血に○の場合	1
	2	無記入、他	
13．関節痛	1	関節痛に○の場合	1
	2	無記入、他	
14．易感染性	1	易感染性に○の場合	1
	2	無記入、他	
15．血尿	1	血尿に○の場合	1
	2	無記入、他	
16．貧血	1	貧血に○の場合	1
	2	無記入、他	
17．黄疸	1	黄疸に○の場合	1
	2	無記入、他	
18．発疹	1	発疹に○の場合	1
	2	無記入、他	
19．出血斑	1	出血斑に○の場合	1
	2	無記入、他	
20．脾腫	1	脾腫に○の場合	1
	2	無記入、他	
21．腫瘤	1	腫瘤に○の場合	1
	2	無記入、他	
22．血管腫	1	血管腫に○の場合	1
	2	無記入、他	
23．Hb（ g/dl）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） 9は09、	2
24．RBC（ $\times 10^4/mm^3$）	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	3
25．Plt（ $\times 10^4/mm^3$）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） 2は02、99以上は99	2
26．WBC（ $/mm^3$）	00	0～999	2
	01	1000～1999	
	02	2000～2999	
		～	
	98	98000～98999	
	99	99000以上	
27．網赤血球（ ‰）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） 2は02、99以上は99	2
28．出血時間（ 分）	同上		2
29．PT（ 秒）	同上		2
30．APTT（ 秒）	同上		2
31．第Ⅷ因子（ %）	同上		2
32．第Ⅸ因子（ %）	同上		2
33．ビリルビン（ mg/dl）	数	小数点2位以下は切り捨て（右づめ） 画面上（ . mg/dl）を表示する　9.9以上は、9.9	2
34．LDH（ IU/l）	00	0～99	2
	01	100～199	
	02	200～299	
		～	
	98	9800～9899	
	99	9900以上	
35．BUN（ mg/dl）	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	2

		２は０２、９９以上は９９	
３６．IgG（ mg/dl）	００	０～９９	2
	０１	１００～１９９	
		～	
	９９	９９００以上	
３７．IgA（ mg/dl）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ４０は０４０、９９９以上は９９９	3
３８．IgM（ mg/dl）	同上		3
３９．直接Coombs試験	1	＋	1
	2	－　　３　無記入、他	
４０．白血球機能検査	1	未実施に○	1
	2	実施または所見に○	
	3	所見の自由記載のみあり	
	4	無記入、他	
４１．合併症	1	無	1
	2	有、合併症に○、記載がある場合を含む	
	3	無記入、他	
４２．経過	1	治癒　　２　寛解	1
	3	改善（改善と不変に○を含む）	
	4	不変	
	5	再燃（再燃と不変に○を含む）	
	6	悪化（悪化と不変に○を含む）	
	7	死亡　　８　判定不能	
	9	その他（上記以外、２カ所以上に○、無記入）	
４３－１．診断年	数	平成の年を入力（右づめ）	2
４３－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
４３－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	

ただし、「４３－１」～「４３－３」は中央集計場所へは報告しない

合計　８７桁

（新規入力項目は、全８７桁＋文字、毎年継続する入力項目は、個人識別番号「２～４」１１桁の確認と「１１～４３」の５７桁、１０年間で６００桁）

各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力したい内容

＊全項目の単純集計。＊７、＊９を含む。
＊「１０－２」別の、１～６、＊７、８、９、＊９、１１～４２の頻度。
ただし、「２４、２５、２７、２９～３３、３５、３７、３８」は、左方の数字で１０個に分類した頻度と、平均値±標準偏差値。「２３、２６、２８、３４、３６」は、左方２桁の数字で３０個（００、０１、～、２８、２９以上）に分類した頻度と、平均値±標準偏差値を算出する。

10）神経・筋疾患の医療意見書のデータベース化案（記載のない個所は入力しない）

項目		説明	桁数
１．平成　年度	数	そのまま入力（右づめ）	2
２．都道府県等の番号	数	そのまま入力	2
３．保健所番号	数	そのまま入力	2
４．受給者番号	数	そのまま入力	7
５．新規・継続	1	新規診断（新規のみの○を含む）	1
	2	転入	
	3	継続	
	4	無記入、他	

項目	コード	内容	桁数
６．男女	１	男	１
	２	女	
	３	無記入、他	
７－１．出生年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	２
７－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	２
	１３	無記入、他	
７－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	２
	３２	無記入、他	
ただし、「７－１」～「７－３」は中央集計場所へは報告しない			
＊７．記入時（診断時）の年月齢（「＊７」歳、「＊７」カ月）を表示する			２＋２
８．発病年	数	昭和・平成の年を入力（右づめ）	２
９．発病月	１～１２	月頃の数字を入力（右づめ）	２
	１３	無記入、他	
＊９．発病時の年月齢（「＊９」歳、「＊９」カ月）を表示する			２＋２
１０－１．疾患名	文字	画面上に表示させ、登録可能にする	１５文字
ただし、この疾患名は集計しない			
１０－２．ＩＣＤ	文字	英語１桁、数３桁、英語１桁(左づめ) 小数点以下のない部分は入力しない	５
１１．小頭症	１	無	１
	２	有	
	３	無記入、他	
１２．けいれん発作	１	無	１
	２	有	
	３	(　　)内の自由記載のみあり	
	４	無記入、他	
１３．自閉傾向	同上		１
１４．意識障害発作	同上		１
１５．行動異常	同上		１
１６．精神遅滞	１	無	１
	２	有のみに○あり	
	３	軽のみ、または有・軽に○あり	
	４	中のみ、または有・軽・中に○あり	
	５	重に○あり	
	６	無記入、他	
１７．運動障害	１	無	１
	２	有のみに○あり	
	３	歩行可のみ、または有･歩行可･座位可に○	
	４	座位可のみ、または有・座位可に○	
	５	寝たきりに○あり	
	６	無記入、他	
１８．皮膚所見	１	無	１
	２	有	
	３	(　　)内の自由記載のみあり	
	４	無記入、他	
１９．呼吸異常	同上		１
２０．筋緊張低下	同上		１
21-1．発達･知能指数(歳時)	数	１歳は０１	２
-2　(数値)	数	５０は０５０	３
２２．脳波	１	脳波に○あり	１
	２	所見の自由記載のみあり	
２３．ＣＴまたはＭＲＩ	１	未実施	１
	２	実施、ＣＴまたはＭＲＩに○あり	
	３	所見の自由記載のみあり	
	４	無記入、他	
２４．麻疹	１	未実施	１
	２	実施のみに○あり	
	３	血清に○、または記載あり	
	４	髄液に○、または記載あり	
	５	血清・髄液ともに記載あり	

項目	コード	内容	桁数
	6	無記入、他	
２５．発達指数（数値）	数	未実施の場合は無記入、 ５０は０５０	3
２６．筋生検	1	未実施	1
	2	実施、筋生検に○あり	
	3	所見の自由記載のみあり	
	4	無記入、他	
２７．筋電図	同上		1
２８．血清ＣＫ（ IU/l）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ８０は０８０、９９９以上は９９９ 未実施・数値記載がない場合は無記入	3
２９．血清乳酸（ mg/dl）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ８は０８、９９以上は９９ 未実施・数値記載がない場合は無記入	2
３０．ＣＴまたはＭＲＩ	1	未実施	1
	2	実施、ＣＴまたはＭＲＩに○あり	
	3	所見の自由記載のみあり	
	4	無記入、他	
３１．合併症	1	無	1
	2	有、合併症に○、記載がある場合を含む	
	3	無記入、他	
３２．経過	1	治癒	1
	2	寛解	
	3	改善（改善と不変に○を含む）	
	4	不変	
	5	再燃（再燃と不変に○を含む）	
	6	悪化（悪化と不変に○を含む）	
	7	死亡	
	8	判定不能	
	9	その他（上記以外、2カ所以上に○、無記入）	
３３－１．診断年	数	平成の年を入力（右づめ）	2
３３－２．　月	１～１２	月の数字を入力（右づめ）	2
	１３	無記入、他	
３３－３．　日	１～３１	日の数字を入力（右づめ）	2
	３２	無記入、他	

ただし、「３３－１」～「３３－３」は中央集計場所へは報告しない。

合計　６７桁

（新規入力項目は、全６７桁＋文字、毎年継続する入力項目は、個人識別番号「２～４」１１桁の確認と「１１～３３」の３７桁、１０年間で４００桁）

各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力したい内容

＊全項目の単純集計。＊７、＊９を含む。
＊「１０－２」別の、１～６、＊７、８、９、＊９、１１～３２の頻度。
ただし、「２８、２９」は、左方の数字で１０個に分類した頻度。「２１－１、２１－２、２５」は、左方２桁の数字で３０個（００、０１、～、２８、２９以上）に分類した頻度。また、これらは平均値±標準偏差値も算出する。

11)成長ホルモン治療用意見書（初回）

一一入力時は、直前の医療意見書で入力した１．「年度」、２．「都道府県・指定都市・中核市番号」、３．「保健所番号」、４．「受給者番号」、５．「新規・継続」、６．「男女」、７－１．７－２．７－３．「生年月日」、１０－２．「ＩＣＤ１０コード」を自動的に表示させ、入力可能にする。

項目		説明	桁数
１４．暦年齢　歳	数	右づめ	２
１５．　ヶ月	０～１１	右づめ	２
	１３	無記入、他	
１６．骨年齢　歳	数	右づめ	２
１７．　ヶ月	０～１１	右づめ	２
	１３	無記入、他	
＊１７．骨年齢／暦年齢（　％）を表示する			２
１８．身長（　cm）	数	小数点２位以下は切り捨て（右づめ） 画面上（　．　cm)を表示する	４
＊１８．年月齢別、男女別の標準身長（　．　cm)の －３．０ＳＤ値、－２．５ＳＤ値、－２．０ＳＤ値を表示する			４×３
１９．体重（　kg）	数	小数点以下切り捨て（右づめ） ９９以上は９９	２
＊１９．標準体重と肥満度（身長７０cm以上～１７歳の場合、％表示）、 または、カウプ指数（身長７０cm未満の場合）を表示する			３＋３ ２
２０．身長ＳＤスコア	数	小数点２位以下は切り捨て(右づめ) 画面上（　．　）を表示する。±は無関係に入力。９．９以上は９．９	２
＊２０．年月齢別、男女別の計算上の身長ＳＤスコアを表示する			２
２１．測定年	数	平成に換算して入力（右づめ）	２
２２．測定月	１～１２	右づめ	２
	１３	無記入、他	
２３．測定日	１～３１	右づめ	２
	３２	無記入、他	
２４．１年前の身長（　cm）	数	小数点２位以下は切り捨て（右づめ） 画面上（　．　cm/年)を表示する	４
２５．測定年	数	平成に換算して入力（右づめ）	２
２６．測定月	１～１２	右づめ	２
	１３	無記入、他	
２７．測定日	１～３１	右づめ	２
	３２	無記入、他	
２８．１年前成長率(cm/年)	数	小数点２位以下は切り捨て(右づめ) 画面上（　．　）を表示する。９．９以上は９．９	２
＊２８．補正成長率（　．　cm/年)を表示する			２
＊＊２８．年月齢別、男女別の標準値の－１．５ＳＤ値（　．　cm)を表示する			３
２９．２年前の身長（　cm）	数	小数点２位以下は切り捨て（右づめ） 画面上（　．　cm/年)を表示する	４
３０．測定年	数	平成に換算して入力（右づめ）	２
３１．測定月	１～１２	右づめ	２
	１３	無記入、他	
３２．測定日	１～３１	右づめ	２
	３２	無記入、他	
３３．２年前成長率(cm/年)	数	小数点２位以下は切り捨て(右づめ) 画面上（　．　）を表示する。９．９以上は９．９	２
＊３３．補正成長率（　．　cm/年)を表示する			２
＊＊３３．年月齢別、男女別の標準値の－１．５ＳＤ値（　．　cm)を表示する			３
３４．症候性低血糖	１	有	１
	２	無	
	３	無記入、他	
３５．二次性徴	同上		１

一一１、成長ホルモン分泌不全性低身長症（下垂体性小人症）および成長ホルモン分泌不全を伴ったターナー症候群

項目	内容	桁
３６－１．ＧＨ、負荷名１	１　アルギニン	１
	２　グルカゴン	
	３　Ｌ－ＤＯＰＡ	
	４　クロニジン	
	５　インスリン	
	６　グルカゴン・プロプラノロール	
	７　インスリン・プロプラノロール	
	８　ＧＲＨ負荷	
	９　無記入、他	
－２．GH頂値（ ng/ml）	数　小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	３
画面上（ ．	ng/ml)を表示する。８．０は０８．０	
＊３６－２．補正ＧＨ頂値（	． ng/ml)を表示する	３
３７－１．ＧＨ、負荷名２	同上（３６－１）	１
－２．GH頂値（ ng/ml）		３
＊３７－２．補正ＧＨ頂値（	． ng/ml)を表示する	３
３８－１．ＧＨ、負荷名３	同上（３６－１）	１
－２．GH頂値（ ng/ml）		３
＊３８－２．補正ＧＨ頂値（	． ng/ml)を表示する	３
３９．夜間GH（ ng/ml） 0m	数　小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	２
画面上（ ．	ng/ml)を表示する。９．９以上は９．９	
＊３９．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)0mを表示する	２
４０． 20m	同上（３９）	２
＊４０．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)20mを表示する	２
４１． 40m	同上（３９）	２
＊４１．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)40mを表示する	２
４２． 60m	同上（３９）	２
＊４２．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)60mを表示する	２
４３． 80m	同上（３９）	２
＊４３．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)80mを表示する	２
４４． 100m	同上（３９）	２
＊４４．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)100mを表示する	２
４５． 120m	同上（３９）	２
＊４５．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)120mを表示する	２
４６． 140m	同上（３９）	２
＊４６．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)140mを表示する	２
４７． 160m	同上（３９）	２
＊４７．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)160mを表示する	２
４８． 180m	同上（３９）	２
＊４８．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)180mを表示する	２
４９． 平均	同上（３９）	２
＊４９．補正夜間ＧＨ値（ ．	ng/ml)平均を表示する	２
５０．尿中GH(pg/mgCr)１、	数　小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	２
画面上（ ．	pg/mgCr)を表示する。９．９以上は９．９	
５１．尿中GH(pg/mgCr)２、	同上	２
５２．尿中GH(pg/mgCr)３、	同上	２
５３．IGF-I（ ng/ml）	数　小数点以下切り捨て（右づめ） ３は００３、９９９以上は９９９	３
５４．IGFBP-3	数　小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	２
画面上（ ．	μg/ml)を表示する。９．９以上は９．９	
５５．ＧＨキット	１　栄研RIA	１
	２　栄研IRMA	
	３　ダイナボットRIA	
	４　第一ラジオIRMA	
	５　東ソーIEMA	
	６　日立化成ヒタザイム	
	７　その他	
	８　複数に○	

項目	コード	内容	桁
	9	無記入、他	
５６．出生胎位	1	頭位	1
	2	骨盤位(骨盤位と帝切･その他に○を含む)	
	3	帝切(帝切と頭位･その他に○を含む)	
	4	その他	
	5	不明	
	6	無記入、他	
５７．新生児仮死	1	有	1
	2	無	
	3	不明	
	4	無記入、他	
５８．新生児黄疸	1	軽(軽と中に○を含む)	1
	2	中	
	3	重(中と重に○を含む)	
	4	不明	
	5	無記入、他	
５９．　　遷延	1	有	1
	2	無	
	3	不明	
	4	無記入、他	
６０．Ｔ４(　μg/dl)	数	小数点以下切り捨て（右づめ）	2
６１．ｆＴ４	数	小数点２位以下は切り捨て（右づめ）	2
画面上(　.　ng/dl)を表示する			
６２．Ｔ３(　.　ng/ml)	同上		2
６３．ＴＳＨ(　.　μU/ml)	同上		2
６４．脳の器質的疾患・画像診断の異常	1	有(疾患または画像等のみの○を含む)	1
	2	無	
	3	無記入、他	
６５．特発性・続発性	1	特発性	1
	2	続発性	
	3	(　)内のみ記載有り	
	4	無記入、他	

ーー２、軟骨異栄養症

項目	コード	内容	桁
６６．脳外科医等のコメント（大孔狭窄）	1	無	1
	2	有	
	3	(　)内のみに記載がある場合	
	4	無記入、他	
６７．（脊椎管狭窄）	同上		1
６８．（水頭症）	同上		1
６９．（脊髄・馬尾圧迫）	同上		1
７０．（神経障害）	同上		1
７１．（MRI･CTの所見）	同上		1
７２．（その他）	同上		1
７３．手術の必要性（大孔狭窄）	1	無	1
	2	有	
	3	無記入、他	
７４．（脊椎管狭窄）	同上		1
７５．（水頭症）	同上		1
７６．（脊髄・馬尾圧迫）	同上		1
７７．（神経障害）	同上		1
７８．遺伝子診断	1	有	1
	2	(　)内のみに記載がある場合	
	3	無	

ーー３、低身長を伴う慢性腎不全

項目	コード	内容	桁
７９．治療期	1	保存療法	1
	2	透析療法のみに○	
		腹膜透析療法･血液透析療法ともに○	

	3	腹膜透析療法(透析療法ともに○を含む)	
	4	血液透析療法(透析療法ともに○を含む)	
	5	無記入、他	
80．腎機能検査(年	数	平成に換算して入力（右づめ）	2
81． 月)	1～12	右づめ	2
	13	無記入、他	
82．Ccr(ml/min/1.73m²)	数	小数点以下切り捨て（右づめ） 99以上は99	2
83．算定法	1	24時間Ccr	1
	2	2時間Ccr	
	3	血清クレアチニン値換算	
	4	上記、複数に○	
	5	無記入、他	
84．血清クレアチニン	数	小数点2位以下は切り捨て（右づめ）	2
画面上(. mg/dl)を表示する		9.9以上は、9.9	
85．BUN(mg/dl)	数	小数点以下切り捨て（右づめ） 99以上は99	2

12)成長ホルモン治療用意見書（継続）

一一入力時は、直前の医療意見書で入力した1．「年度」、2．「都道府県・指定都市・中核市番号」、3．「保健所番号」、4．「受給者番号」、5．「新規・継続」、6．「男女」、10－2．「ICD10コード」を自動的に表示させ、入力可能にする。また、前年度の申請内容の、7－1．生年月日の年、7－2．月、7－3．日、＊28補正成長率(. cm/年)も自動的に表示させ、入力可能にする。

項目		説明	桁数
14．効果	1	有	1
	2	有りと思う	
	3	判定不能	
	4	無と思う	
	5	無	
	6	無記入、他	
15．GH治療と関係ある有害事象	1	無	1
	2	有	
	3	( )内のみ記載有り	
	4	無記入、他	
16．GH治療中の有害事象	同上		1
17．治療開始前1年間の身長増加	数	小数点2位以下は切り捨て(右づめ)	2
画面上(. cm/年)を表示する。9.9以上は9.9			
＊28．前年申請時の補正成長率(. cm/年)を表示する			2
18．治療開始日平成 年	数	右づめ、平成に換算して入力	2
19． 月	1～12	右づめ	2
	13	無記入、他	
20． 日	1～31		2
	32	無記入、他	
21． 身長	数	小数点2位以下は切り捨て(右づめ)	4
画面上(. cm/年)を表示する			
＊21．年月齢別、男女別の計算上の身長SDスコアを表示する			2
22． 二次性徴	1	無	1
	2	有	
	3	無記入、他	
23． 併用薬	1	無	1
	2	有	
	3	自由記載のみ有り	
	4	無記入、他	
24． 約1年前平成 年	同上(18)		2

２５．　　　　　　　　　月　同上（１９）　　　　　　　　　　　　　　　２
２６．　　　　　　　　　日　同上（２０）　　　　　　　　　　　　　　　２
２７．　　　　　　身長　　　同上（２１）　　　　　　　　　　　　　　　４
＊２７．年月齢別、男女別の計算上の身長ＳＤスコアを表示する　　　　２
２８．　　　　　　二次性徴　同上（２２）　　　　　　　　　　　　　　　１
２９．　　　　　　併用薬　　同上（２３）　　　　　　　　　　　　　　　１
＊２９．約１年前からの補正成長率（　．　cm/年）を表示する　　　　　２
３０．　　約半年前平成　年　同上（１８）　　　　　　　　　　　　　　　２
３１．　　　　　　　　　月　同上（１９）　　　　　　　　　　　　　　　２
３２．　　　　　　　　　日　同上（２０）　　　　　　　　　　　　　　　２
３３．　　　　　　身長　　　同上（２１）　　　　　　　　　　　　　　　４
＊３３．年月齢別、男女別の計算上の身長ＳＤスコアを表示する　　　　２
３４．　　　　　　二次性徴　同上（２２）　　　　　　　　　　　　　　　１
３５．　　　　　　併用薬　　同上（２３）　　　　　　　　　　　　　　　１
＊３５．約半年前からの補正成長率（　．　cm/年）を表示する　　　　　２
３６．　　最近　　平成　年　同上（１８）　　　　　　　　　　　　　　　２
３７．　　　　　　　　　月　同上（１９）　　　　　　　　　　　　　　　２
３８．　　　　　　　　　日　同上（２０）　　　　　　　　　　　　　　　２
３９．　　　　　身長　　　　同上（２１）　　　　　　　　　　　　　　　４
４０．　　　　　二次性徴　　同上（２２）　　　　　　　　　　　　　　　１
４１．　　　　　併用薬　　　同上（２３）　　　　　　　　　　　　　　　１
４２．体重（　　kg)　　　　数　　小数点以下切り捨て（右づめ）　　２
　　　　　　　　　　　　　　　　　９９以上は９９
＊４２．標準体重と肥満度（身長７０cm以上～１７歳の場合、％表示）、３＋３
　　　　または、カウプ指数（身長７０cm未満の場合）を表示する　　　２
４３．骨年齢　歳　　　　　　数　　右づめ　　　　　　　　　　　　　２
４４．　　　　ヶ月　０～１１　　右づめ　　　　　　　　　　　　　２
　　　　　　　　　　　１３　　無記入、他
４５．身長ＳＤスコア　　　　数　　小数点２位以下は切り捨て（右づめ）　２
　　　　画面上（　．　）を表示する。±は無関係に入力。９．９以上は９．９
＊４５．年月齢別、男女別の計算上の身長ＳＤスコアを表示する　　　２
＊４６．男子１５６．４cm、女子１４５．４cmに達する平成年月の　　　２＋２
　　　　推計値を表示する

——低身長を伴う慢性腎不全のみ

４６．治療開始日平成　年　　数　　右づめ　　　　　　　　　　　　　２
４７．　　　　　　　　月　　１～１２　　右づめ　　　　　　　　　　２
　　　　　　　　　　　　　　１３　　　無記入、他
４８．　　Ｃcr　　　　　　　数　　小数点以下切り捨て（右づめ）　　２
　　　　（ ml/min/1.73m²)　　　　９９以上は９９
４９．　　血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ　　　　数　　小数点２位以下は切り捨て（右づめ）２
　　　　　　　画面上（　．　mg/dl)を表示する　　９．９以上は、９．９
５０．　　ＢＵＮ（ mg/dl)　数　　小数点以下切り捨て（右づめ）　　２
　　　　　　　　　　　　　　　　　９９以上は９９
５１．　約１年前平成　年　　同上（４６）　　　　　　　　　　　　　２
５２．　　　　　　　　月　　同上（４７）　　　　　　　　　　　　　２
５３．　　Ｃcr　　　　　　　同上（４８）　　　　　　　　　　　　　２
５４．　　血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ　　　　同上（４９）　　　　　　　　　　　　　２
５５．　　ＢＵＮ　　　　　　同上（５０）　　　　　　　　　　　　　２
５６．　約半年前平成　年　　同上（４６）　　　　　　　　　　　　　２
５７．　　　　　　　　月　　同上（４７）　　　　　　　　　　　　　２
５８．　　Ｃcr　　　　　　　同上（４８）　　　　　　　　　　　　　２
５９．　　血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ　　　　同上（４９）　　　　　　　　　　　　　２
６０．　　ＢＵＮ　　　　　　同上（５０）　　　　　　　　　　　　　２
６１．　最近　　平成　年　　同上（４６）　　　　　　　　　　　　　２
６２．　　　　　　　　月　　同上（４７）　　　　　　　　　　　　　２
６３．　　Ｃcr　　　　　　　同上（４８）　　　　　　　　　　　　　２
６４．　　血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ　　　　同上（４９）　　　　　　　　　　　　　２
６５．　　ＢＵＮ　　　　　　同上（５０）　　　　　　　　　　　　　２

検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります